

製品名: CD11b ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21256**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:4000-1:20000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:127kD;Observed MW:170kD

抗原情報

遺伝子名	ITGAM
別名	Integrin alpha-M;CD11 antigen-like family member B;CR-3 alpha chain;Cell surface glycoprotein MAC-1 subunit alpha;Leukocyte adhesion receptor MO1;Neutrophil adherence receptor;CD antigen CD11b;
遺伝子 ID	3684.0
SwissProt ID	P11215
免疫原	ヒト CD11b の合成ペプチド

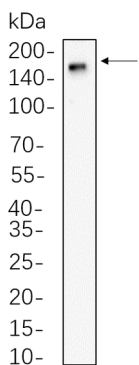
背景

細胞局在: 膜。インテグリンサブユニット α M (ITGAM) ホモサピエンス この遺伝子はインテグリン α M 鎖をコードする。インテグリンは、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質である。この1ドメインを含む α インテグリンは、 β 2 鎖 (ITGB2) と結合して、マクロファージ受容体1 (「Mac-1」) または不活性化 C3b (iC3b) 受容体3 (「CR3」) と呼ばれる白血球特異的インテグリンを形成する。 α M β 2 インテグリンは、刺激を受けた内皮細胞への好中球および単球の接着、ならびに補体被覆粒子の貪食に重要である。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2009年3月]

研究分野

-

画像データ



マウス脾臓全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを CD11b ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。